

No. 501  
2013年  
4月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F  
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 2013年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2013年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べることができます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

**日時**：2013年4月26日(金) 17:00～17:45  
**場所**：(株)構造計画研究所 本所新館地下1階  
レクチャールーム  
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3  
(丸の内線新中野駅徒歩1分)

### 総会次第：

1. 2012年度事業報告の件
2. 2012年度収支計算報告および監査報告の件
3. 2013年度事業計画案の件
4. 2013年度収支予算案の件
5. 2013-2014年度役員承認の件
6. その他

## ● 2013年秋季シンポジウム (第70回)

**日程**：2013年9月10日(火)  
**場所**：徳島大学常三島キャンパス  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

## ● 2013年秋季研究発表会

**日程**：2013年9月11日(水)、12日(木)  
**場所**：徳島大学常三島キャンパス  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

## ● 新宿OR研究会案内

**〔第327回 新宿OR研究会〕**  
**日時**：2013年4月16日(火) 12:00～14:00  
**場所**：東天紅会議室 (新宿センタービル 53F)  
**講師**：山崎弘郎氏 (東京大学名誉教授)  
**テーマ**：「スマートセンサーの最近の動向」  
**参加費**：3,000円 (事前にメールにてお申し込みください。)

**問合せ先**：日本OR学会事務局  
E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

### メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようお願い申し上げます。

ご登録済みのアドレスを変更する場合は、新しいメールアドレスで参加登録をし、古いアドレスは脱退の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

### 年会費専用振込み口座

年会費：正会員 14,400円、学生会員 5,000円  
口座名：公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
ゆうちょ銀行：東京 00190-6-79492  
みずほ銀行：根津支店 (店番号235) 普通 1124744  
\*手数料は払込人負担でお願いします。  
\*会員番号とお名前は必ずお書きください。

### お問合せ・各種お届け先

OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

- ・住所/所属先/メールアドレス/OR誌送付先の変更/学生会員 → 正会員への変更  
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。
- ・退会届  
会員氏名と簡単な退会理由もお書きください。

### 年会費請求書の再発行

会員氏名、請求金額、請求書宛名 (個人名/法人名/法人名+個人名)  
請求書の日付指定の有無  
請求書様式の指定 (請求書・見積書・納品書、指定用紙ありなど)

### 年会費領収書の発行

会員氏名、納入金額、領収書宛名 (個人名/法人名/法人名+個人名)  
領収書の日付指定の有無  
毎年発行希望の場合は、その旨、お書き添えください。

## 2013年度第1回ORセミナー

## 『待ち行列チュートリアル』

**開催趣旨:** 待ち行列モデルの代表的な分析手法について基礎から学びたい、分析の応用例が知りたい受講者、特に学生・初学者を対象とする。

**日時:** 2013年4月20日(土) 13:00~17:50

**会場:** (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)

〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 Tel. 03 (5342) 1065

東京メトロ丸の内線「新中野」駅1,2番出口 徒歩約1分

<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

**コーディネーター、司会:** (株)構造計画研究所 齊藤努

**協賛学会(交渉予定):** 情報処理学会, 経営情報学会, 電子情報通信学会, 日本経営工学会

**定員:** 60名 定員になり次第締め切らせていただきます。

**プログラム:** (敬称略)

13:00~13:05 **開会挨拶**

13:05~14:35 **講演1 「M/M/1を越えて—準出生死滅過程への招待—」**

講師: 大阪大学 滝根哲哉

概要: M/M/1など基本的な待ち行列モデルの系内客数過程は、出生死滅過程と呼ばれる特殊な構造をもつ連続時間マルコフ連鎖で表現され、その定常解は幾何級数の形で与えられる。本講演では、出生死滅過程を自然な形で拡張した準出生死滅過程について、客の到着間隔あるいはサービス時間が超指数分布に従う待ち行列モデル(M/H<sub>2</sub>/1, H<sub>2</sub>/M/1)を例に解説し、その定常解が行列幾何形式で与えられることを解説する。また、準出生死滅過程で表現されるさまざまなモデルも紹介する。なお、セミナー受講者はM/M/1ならびにM/M/cの定常系内客数分布の解析方法に関して多少の知識があることを前提としている。

14:35~14:40 **休憩**

14:40~16:10 **講演2 「待ち行列分析のシミュレーション技法」**

講師: 早稲田大学 逆瀬川浩孝

概要: 現実の問題が待ち行列モデルとして定式化できたとしても、そのままの形で解析的に解けるケースは少ない。多くの場合、乱数を使ったシミュレーションによって分析が行われる。本講演では、シミュレーション分析の基本的な考え方を手始めに、その分析手順、結果のまとめ方、効率的な分析手法などについて、初学者にわかりやすいように例題を中心に解説する。

16:10~16:15 **休憩**

16:15~17:45 **講演3 「コールセンターのモデル化—待ち行列の視点から—」**

講師: 群馬大学 河西憲一

概要: コールセンターは企業と顧客の接点であり、今日では企業経営にとって重要な役割を果たす部署として認識されていることもあり、経営科学の観点からも関心を集めている。本講演では、コールセンターを待ち行列の視点から眺め、そのモデル化と性能解析について解説する。まず、解析的に扱いやすいマルコフ型の待ち行列モデルについて、コールセンターとして考えられるモデルを紹介し、サービスレベルなどの指標がモデルによってどのように変わり得るのかを観察する。さらに、非マルコフ型のコールセンター待ち行列モデルについて、スプレッドシートに基づくシミュレーションにより分析する手法を紹介する。

17:45~17:50 **まとめ**

**参加費** (テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生(会員/非会員) 0円, 非会員10,000円  
 たくさんの方に参加して頂けるように参加費を下げています。是非、ご参加ください。

**申込方法:** 日本OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp) (お名前, ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。)

**申込締切:** 2013年4月12日(金) OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

**お振込先:** みずほ銀行: 根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

## ● 横幹連合のご紹介 ●

特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）  
会長 出口光一郎

日本オペレーションズ・リサーチ学会様には、横幹連合にご参加いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、2013年度に発足10周年を迎えます。横幹連合では、多様な研究者の方々に横断的な意見、情報交換を行っていただく機会などを設けております。そうした機会をこちらの紙面をお借りして、ご紹介させていただきます。貴学会の皆様におかれましても、横幹連合の取組みをご覧いただき、是非、ご活用いただければ幸いです。

### 1. 横幹連合とは？

横幹連合は文理にわたる学会の集まりです。自然科学と並ぶ技術の基礎である「基幹科学」の発展と振興をめざしています。限りなくタテに細分化されつつある科学技術の現実の姿に対し、「横」の軸の重要性を訴えそれを強化するための活動を行っています。

### 2. 具体的には、どんな活動？

#### (1) 横幹コンファレンス／シンポジウム

毎年、加盟全学会の主催で交互にコンファレンスとシンポジウムを開催しています。2011年には「21世紀のイノベーション創出に向けた知の統合と知の創造」をテーマとしたコンファレンスが北陸先端大学で、2012年には「横幹技術と日本再生：知の融合で目指す強靱で持続可能な社会」をテーマとしたシンポジウムが日本大学で開催されました。コンファレンスでは加盟学会の会員の方々から130以上の研究報告などが行われ、活発な意見交換がありました。

横幹コンファレンス／シンポジウムでの優れた報告（研究者）には、木村賞が授与されます。

★2013年には、「異分野の新結合と知の創造」（予定）をテーマとしたコンファレンスが香川大学で開催されます。加盟学会の会員の皆様におかれましては、この機会を積極的にご活用いただき、是非、ご参加下さい！

#### (2) 横幹技術フォーラム

横幹技術協議会が年6回開催するフォーラムと連携しています。本フォーラムでは、産学連携の下、文理にまたがる多様なテーマの講演や意見交換が行われています。加盟学会の会員の方々にも多数ご講演いただいています。

#### (3) 会誌「横幹」

年2回、会誌を発行しています。加盟学会の会員の方々に多数の論文等を発表いただいています。

#### (4) 政策提言など

上述のほか、科学術政策に関する提言・宣言や学会連携の調査研究会活動などを行い、加盟学会の会員の方々にご活躍いただいています。

### 3. 横幹連合のことをもっと知るには？

横幹連合のウェブサイト（「横幹連合」で検索）を是非、ご覧ください。そして、年4回、加盟学会に電子メールでお送りしている「横幹連合ニュースレター」もご覧ください（ウェブサイトにも掲載）。ニュースレターの「会員学会の横顔」コーナーでは、加盟学会のことを掘り下げてご紹介しています。

日本オペレーションズ・リサーチ学会の皆様のご参加を心からお待ちしております。

ご不明な点などありましたら、貴学会事務局のほか、横幹連合事務局にご連絡ください。

（横幹連合事務局連絡先）E-mail: office@trafst.jp Tel/Fax: 03-3814-4130

ウェブサイト: <http://www.trafst.jp/index.html>